

少年消防クラブ一日体験入署

夏休みに少年消防クラブ体験入署がありました。下田・西土佐・伊田・上川口の5・6年生が四万十消防署に集まりました。日程は、主に署内見学・活動体験・クイズやアンケートでした。私が一番おもしろかったのは、活動体験でやった救助活動と心肺蘇生法の訓練です。救助活動の訓練では、最初にロープの結び方やその名前を教えてくださいました。例えば、頑丈に結ぶための本結びや節結びです。チロルという空中に張ったロープの渡り方を習いました。ロープから落ちないように座席結びをしてカラビナでロープをつなぎ合わせたあと渡りました。そんなにきよりは遠くはなかったけど、これが5メートル・10メートル・15メートルになったら大変だなあと感じました。今後少年消防クラブとして、いろいろな訓練に参加していきたいです。



(上川口小学校 5年生 林 空海)

みんな防災学習

南郷小では、昨年からの防災の取り組みを続けています。主な取り組みは、避難訓練です。掃除や休み時間にも緊急放送がなります。みんな、あせらず急いで避難します。新しくできた避難道を上がる時は、とてもしんどいです。でも、1年生から6年生みんなが一生懸命上がっています。帰る時は、上級生と下級生が仲良く手をつないで下りてきます。

1学期には、地域の人たちにも協力してもらい、「炊き出しのカレー作り」にも取り組みました。とてもいい経験ができました。授業でも、地震や津波のDVDを見ながら勉強しています。この前は、高知大の先生に地震や津波の恐ろしさを教えてもらいました。

南郷小の一人ひとりが、正しく理解し、しっかりと行動することを目標にがんばっています。



(南郷小学校 6年生)

新しいひなん道で訓練

9月7日 金曜日、朝マラソンの時間に、新しく完成した学校の3階から、うら山に通じるひなん道を使ったひなん訓練をしました。

1学期は、校庭からうら山に登っていましたが、多くのクラスでは、その後、新しいひなん道について話し合いました。その中で、「ひなん道の階段は急なので、お年よりにはきびしいね。」とか、「夜はくらくらどこに階段があるのかわからないね。」など意見が出ました。

これからは、地いきの人たちといっしょにひなん訓練をしていきたいと思いました。

そして、みんなが安心してひなんができるようになったらいいなと思いました。



(伊田小学校 4年生 松本尊広)